

新型コロナワクチン接種有無を巡る人権の尊重及び 保護に向けた対応への決議案の提案理由説明

山下 茂 議員

ワクチン接種では個別事由などにより接種ができない、あるいは望まないという方も少なくない。しかし一部にワクチンを接種した人のみを殊更優遇する施策や行為が散見され、このことがひいては非接種者への不平等や不当な扱いに繋がる、言わばワクチンハラスメントとも言える事態になりかねない。厚労省が公開している新型コロナワクチン Q&A に中でも“他人への感染予防効果や集団免疫効果は分かっていない”と明記されており、安易に日常生活の平常化を後押しする方策によって、かえって感染拡大に繋がりがねない危険性をはらんでいる事も考慮する必要がある。ワクチン接種はできる限り公平公正な最新の知見に基づき、あくまで個人の判断でなされるべきであり、町もその周知伝達および理解促進には責任を持って取り組むべき立場にあり、町民の命を守ることと同じく、自らの意思で接種しないという選択肢をとられた人々への配慮も決して疎かにしてはならない。